



令和7年7月24日



チームたかく・はくれい

「なかよく学び すすんで働こう」「希望・意欲・自立」

子どもの育成を目指して -0724 分校校長たより⑥-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～

上松 武

### ■一生懸命はカッコいい! ~75日間の1学期終了~

#### みなさんへの おねがい

- ①できることを ふやそう!!
- ②できることを まわりの人のために やってみよう!!
- ③まわりの人を えがおに しよう!!



わたしも やっていきます!!

#### みなさんに 期待していること

じつは、もう一つあります。

④この糸魚川を

**どんな人も**

**大切にされる「まち」**

**にしてほしい!!**

いっしょう

めい

# 一生けん命は カッコいい



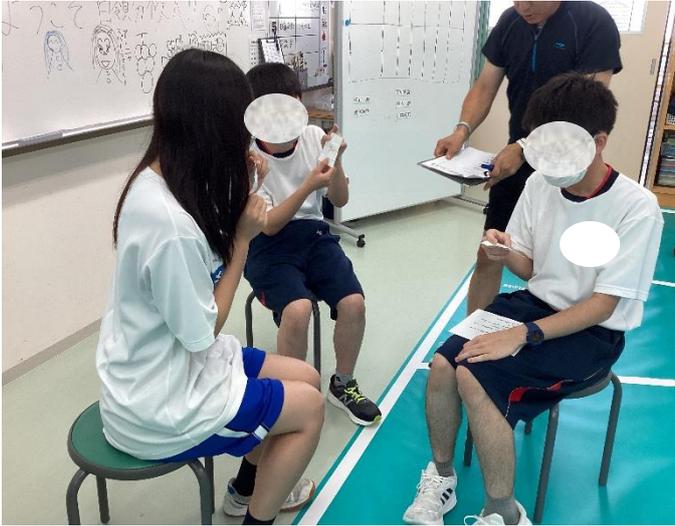
- ・75日間の1学期が今日終わりました。
- ・1学期の始めにお話したお願いと期待に触れた後、「周りの人を笑顔にしたこと」と「糸魚川のまちに貢献したこと」をいくつか挙げながら1学期を振り返りました。
- ・22名の生徒一人一人の一生懸命な姿は、相手の心に「お主のためなら!」という感情を抱かせました。「がんばっているな~」「すごいな~」という気持ちはもちろん、応援したくなる気持ちや、この人のためなら一緒にがんばりたい気持ちが沸き起こってくる

ことを感じました。

- ・話の終わりに、私はそんな自分の気持ちを、「一生けん命はカッコいい」という言葉で生徒全員に伝えました。
- ・「一生懸命」や「まじめ」がダサいと揶揄される時代です。私はこの先どうなるか分からない時代だからこそ、何事にも一生懸命に、まじめに取り組むことが大切だと思っています。
- ・これからも、22名の生徒一人一人の一生懸命な姿を見つけ、「カッコいいね~」「それ、つづけてみよう~」と言葉をかけ続けていきます。そして、一生懸命に生徒たちを支えている18名の先生方にも、同じように声を掛けていきます。

### ■非認知能力の大切さ! ~盛り上がった同年代の交流学習7/4(金)~

- ・7月4日(金)、糸魚川白嶺高等学校の福祉コースの生徒12名と今年度初めての交流学習を行いました。
- ・分校の生徒の中には昨年度参加できず、「心臓が口から飛び出そうだ」などと不安でいっ



ばいな気持ちでこの日を迎えた生徒がいたと聞いています。その背景には、これまでに「自分なんて」と他者と比較して、自分の存在や価値が見出せなくなった経験があるのではないかと私は考えています。

- このような生徒たちにとってこの白嶺分校はなくてはならない場所だと思います。上記のような苦い経験をしてきても、本校では、自分でできることを生かして、仲間や地域の人たちのために、そしてこの「まち」のために貢献することで、自分の

よさを見つめ直すことができます。同世代間の交流に何らかの大切さを感じた高校生がお互いのよさを理解し合うことが本校ではできます。

- 先日の糸魚川白嶺高等学校との交流学习の様子から、私は将来に大きな期待を抱いています。それは、両校の生徒に豊かな「非認知能力」があるからです。
- 上記のような経験を味わってきた分校生徒ですが、うまくボールが投げられた時に白嶺高校の生徒とグータッチで一緒に盛り上がっていました。チームが不利になって「ごめん」の仕草に、オッケーサインで返したりしていました。言語では伝えきれないことを「非言語能力」で自然に伝え合っているからこそ、両者の距離感が短い時間であるにもかかわらず縮まっていったと思います。
- この交流学习の光景が、糸魚川の至る所で見られるように、地域をもう一つの教室にして、誰もが自分のできることを生かして、自分らしく生きていける「まちづくり」に取り組んでいきましょう。一人一人が表情豊かで、元気過ぎるほど元気で、一緒にいると楽しい本校の生徒たちに期待を込めて…。

## ■絵本の紹介

『となりのせきのますだくん』 武田美穂 作・絵



### みどころ

娘が小学校に上がって、おとなりの席はやはり「ますくん」でした。そう、「かいじゅう」に見えるらしいんです。「何かとこちらに話しかけてくる」「こうしろああしろとうるさい」「・・・こわい」なんて言うんです。そこでこの絵本登場。何度も何度も読み返していました。そして「私はみほちゃんと一緒に。」なんて言うんですよ（笑）

シチューも嫌い、給食苦手、運動苦手、引っ込み思案なところも。でもね、ラストには気持ちが少し近づく二人がいるんですよ。ますだくんの優しさに気づく時がかならずくるよ。

小学校での生活をユーモアと切なさで描いた素敵な1冊です。

1年生に上がる子どもさんには是非どうぞ。

（ハッピーカオリンママさん 30代・ママ 男の子7歳、女の子6歳、女の子3歳）

ホームページ「絵本ナビ ベストレビュー」より引用